



杉並区立  
浜田山小学校

学校だより 第550号  
令和3年度 5月号

# はまだやま

校長 伊勢 明子  
副校長 越山 宗治

## 挨拶の力

副校長 越山 宗治

4月から浜田山小学校で勤務することになった副校長の越山宗治です。以後よろしくお願いたします。

さて、初めての学校では、誰もが多少なりとも不安に感じることもあると思います。私もそうでした。しかし、浜田山小学校に来て何よりも嬉しかったのが、様々な場所で会う子どもたちの多くが、しっかり挨拶してくれたことです。なぜならたった一言の挨拶ですが、それだけで私は浜田山小学校に受け入れてもらえていると感じることができたからです。よく挨拶は人と人をつなぐ架け橋と言われますが、不安な気持ちを吹き飛ばしてくれる効果もあるのだなと思いました。そして、これから頑張ろうという前向きな気持ちにもさせてくれました。改めて子どもたちに感謝したい気持ちです。

初めての学校というと、1年生もそうです。きっと多くの不安で一杯だったのではないのでしょうか。しかし、そんな1年生を受け入れようと6年生がとても頑張っていました。挨拶はもちろん、困っていそうな子がいたらさかさず声をかけている姿から、浜田山小学校の良さをたくさん知ることができました。6年生は学校の中心的な立場です。そんな6年生がこれだけ頑張っているのであれば、これからの浜田山小学校は安心だと感じるすることができました。

6年生に限らず他の学年の子どもも、誰もがみんな頑張ろうとしています。しかし、毎日の生活の中では、やる気をなくしてしまうことや、嫌なこと辛いことが起こることもあると思います。そんなとき、ちょっとした挨拶をされることで、私のように前向きな気持ちになることがあるのではないのでしょうか。慣れていない人は、挨拶だけでも勇気があるかもしれません。しかし、たった一言が誰かを力付けられるとしたら、勇気を出す価値があると思います。挨拶一つで世界が変わるとまでは思いませんが、世界を変えるきっかけにはなると信じています。挨拶が上手な子どもたちの力も借りて、職員一同でよりよい浜田山小学校を目指して頑張ります。

### 5月の生活目標

### 【あいさつ名人になろう】

新学期が始まり、1ヶ月が過ぎようとしています。新型コロナウイルス感染症に対する予防にも留意しながら、節度をわきまえながら校庭で楽しそうに遊ぶ姿が見られます。「気持ちのよいあいさつ」「話をしっかり聞く」「正しい言葉づかい」は、今年度も、重点目標として年間を通して呼びかけていきます。

今月の目標は「あいさつ名人になろう」です。礼儀正しく、気持ちよくあいさつができるように「あいさつ運動」を推進していきます。そして、礼儀正しく、自分からあいさつをすることの気持ちよさを、たくさん味わわせていきたいと考えています。コロナ禍で、なかなか「大きな声であいさつしよう…」ということはできませんが、心地よいあいさつの声が飛び交う、浜田山小学校だとよいです。

だんだん気温が上昇していく季節になります。汗ふき用のタオル、水分補給のため水筒をご用意ください。